

＜美濃地区＞

	意見	回答	担当委員会
1	<p>＜高齢者施設入所について＞</p> <p>入居費が高額で年金生活者だけでは利用できない。年金の範囲で利用できる施設が必要である。</p>	<p>「えっとまめなプラン」に沿って進められていきますが、色々な人が声を上げていくと、行政も動くので、どんどん要望や意見を上げていただきたいと思います。</p>	福祉環境
2	<p>＜地域自治組織について＞□</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動き始めた地域自治組織に対して、もっと市はアドバイスや成功例など話し合う機会を持ってほしい。「自分たちのことは自分でやれ」というが、アドバイスがあればもっと活気づく。委員は一生懸命取り組んでいるので、担当課は足を運び、励ましアドバイスがあれば活気づくと思う。 ・高齢化、人口減少で自治会の弱体化が予想以上に進み、担い手が少ない中で自主財源を求めることは難しい。奥出雲や邑南町を訪問したが、益田市は地域に運営を任せっぱなしである。市全体として、もっと行政主体になり、進めていくべきである。 ・自主財源確保は難しい。市は交付金を切りたい考えだろうが引き続き支援してもらわないと運営は難しい。 ・市からの組織への支援が少なくなっている。「地域のことは自分たちで」というように見える。 ・中間支援組織ユタラボに下請けさせているのではないか。だが、ユタラボは地域づくりのエキスパートなのか。アドバイスする立場にあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源確保の難しさは議会としても声を上げていきます。 ・コロナ禍ではありましたが、現場へ出かけての担当課がアドバイスすることは大事なことです。他の地域自治組織の動きを伝えたり、組織同士で話し合う場も必要と考えます。執行部へご意見を伝えます。 ・ユタラボに事業をお任せしているが、今後の活動成果を見ていかないと今は何とも言いえない状況です。 <p>【執行部回答 連携のまちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に対しては、連携のまちづくり推進課が訪問をし、状況把握を行っているところです。地域自治組織が求めるアドバイスや情報などについては、積極的な関わりを今後も持ちながら、円滑な地域づくりにつなげてまいりたいと考えております。 ・自主財源の確保が出来ることは持続可能な地域自治組織の運営にとっては望ましいことですが、地域の実情も様々であることも承知しております。今後、市も他地区の事例を紹介し必要な支援を継続するとともに、交付金等の支援も継続していくよう努めてまいります。 ・中間支援組織としての機能を果たす一般社団法人「豊かな暮らしラボトリー」（ユタラボ）とは、地域での話し合いの場づくりや地域の担い手育成事業などの事業実施について委託契約を締結しています。市は、ユタラボを地域づくり全般のエキスパートとして下請けに出しているものではありません。市の地域づくり支援の一つとして、ひとづくりを通じ地域の活性化に関する事業をおこなうこと、NPO法人カタリバに帰属する手法を「益田版カタリ場」として活用できる市内唯一の組織であること、ひとづくりや地域づくりについて地域自治組織に伴走しながら支援を行う組織であることなどから、事業を委託しているものです。そのため、委託事業実施の際には地域の実情に応じた助言や伴走を行うこととなります。 	総務文教
3	<p>＜川や道路、農業水路管理について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の草刈り処理方法があいまいで、うまくいっていない。 ・川刈りも若い人の管理で本刈りができていない。 ・住民がいなくなり、地区の管理者が不在になる。道路や側溝の管理はどうするかが問題となる。 	<p>議会では、中山間地域振興特別委員会において、中山間地域振興条例制定に取り組みますので、川や道路の管理維持などのご意見についても盛り込みたいと考えます。</p>	中山間地域振興
4	<p>＜地域公共交通について＞</p> <p>地域輸送組織を考えているが、法的制約で地域内輸送しかできない。</p>	<p>地域公共交通計画を策定中なので、議会としても声を出していきます。</p>	総務文教 中山間地域